

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	プログラミング	担当教員	山田博文	
学年学科	2年 電気情報工学科	通年	必修	2単位
学習・教育目標	(E) 100%			
授業の目標と期待される効果： C言語のプログラミングを通じて、手続型のプログラミングの基本的な概念を習得する。具体的には、以下の項目を目標とする。 ① C言語のプログラムを理解できる。 ② C言語の簡単なプログラムを作成できる。 ③ 有用なアルゴリズムを理解する。 ④ データの表現方法を理解する。 ⑤ コンピュータを用いて、実際にプログラムを作成し、実行できる。	成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋レポート 120 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋レポート 120 点 学年：前・後期の重みを等しくして合計し、総得点率 (%) で成績を評価する。 達成度評価の基準： 教科書の練習問題と同等レベルの問題を試験で出題し、6割以上の正答レベルまで達していること。⑤については成績評価には考慮せず、授業時間中の演習で身につけていることを確認する。 ① C言語のプログラムを読み、理解することができること。 ② C言語の簡単なプログラムを作成できること。 ③ 授業で扱ったアルゴリズムを理解していること。 ④ 授業で扱ったデータの表現方法を理解していること。 ⑤ コンピュータを用いて、実際にプログラムを作成し、実行できること。			
	授業の進め方とアドバイス： 授業ではプリントによる解説と練習課題を実施する。演習では各自課題に取り組みレポートを作成する。積極的に演習等のプログラムを作成すること。教科書の例題等のプログラムを作成して、理解を深めるとよい。			
教科書および参考書： 教科書：新版明解 C 言語入門編 (柴田望洋, ソフトバンククリエイティブ)				
授業の概要と予定：前期				
第 1 回：最も簡単なCプログラム				
第 2 回：画面表示				
第 3 回：整数の計算				
第 4 回：実数の計算				
第 5 回：数学関数				
第 6 回：演習 (実数の計算)				
第 7 回：キーボード入力				
第 8 回：前期中間試験				
第 9 回：条件分岐 I				
第 10 回：条件分岐 II				
第 11 回：演習 (条件分岐)				
第 12 回：繰り返し I				
第 13 回：繰り返し II				
第 14 回：繰り返し III, 構造化プログラミング				
第 15 回：演習 (繰り返し)				
期末試験				
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)				

授業の概要と予定：後期
第17回：関数
第18回：引数の受け渡し
第19回：変数の種類
第20回：演習（関数）
第21回：構造体
第22回：関数と構造体
第23回：演習（構造体）
第24回：後期中間試験
第25回：配列
第26回：多次元配列
第27回：演習（配列）
第28回：ソート
第29回；演習（ソート）
第30回：文字
第31回：演習（文字）
期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験解答解説など）